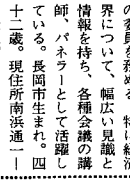
新潟大学名誉教授、新潟大学医学部教授、同医学部長、新潟大学学長を歴任。新潟市の都市問題懇談会の会長として「あすの新潟」―三十年後の新潟市のあるべき姿―を提言。和歌山県橋本市生まれ。七十歳。現住所青山一四三六―六九八。

早く上野まで直通に

北村四郎（前新大学長）

十月十五日、いよいよ上越新幹線が開通する。時刻表によると、新潟―大宮間があさひ号で一時間五十五分、大宮から上野までが乗換えの時間を含めて四十七分、合計新潟から上野までの所要時間が二時間四十二分となる。しかも大宮駅の到着ホームが十六～十八番で、大宮発上野行の乗換列車は七番ホームの発となっている。私はまだ新装なった新幹線の大宮駅は知らないが、どうやら乗換えに重い荷物をさげて長い距離を移動しなければならないことになりそうである。早く上野まで乗換えなしの直通にしてほしい。そうでなければ新幹線の価値が半減する。新潟から上野までが直通となれば、それはきわめて便利なことで、新潟の人は日帰りで東京のデパートや銀座での買物を楽しむことができるし、商社マンも一日の出張でことがたりる。しかし東京の人は果たして新潟に魅力を感ずるであろうか。残念ながら新潟は特産品に乏しくこれといった名所旧跡もない。ただあるのは庶民性豊かな人情と日本海だけである。その日本海も地盤沈下によって砂浜がほとんどなくなっている。早く養浜工事を行って、東京の人達が海水浴を楽しめるようにする必要がある。また信濃川下流（関屋分水より河口まで）の改修を速やかに実施し、そこに緑したたる河川敷公園を設置し、新潟のシンボルとしたい。さらに極度に汚染されている鳥屋野潟を浄化し、湖畔に対岸諸国の植生を示す大規模の森林公園や児童公園、チューリップ農園等を設置すると共に新潟県物産館をはじめ「ソ連・シベリア館」「北方用国館」「韓国・朝鮮館」等、日本海側における国際的文化の中枢都市を表徴する諸施設を設けることが望ましい。換言すれば、新潟市は上越新幹線の開通を契機として大規模な観光産業を開発する必要がある。またそれと同時に農水産加工を主とする地場産業や雪国を表徴するファッション産業を育成することが肝要と思われる。



新潟市の都市問題懇談会の委員を務める。特に経済界について、幅広い見識と情報を持ち、各種会議の講師、パネラーとして活躍している。長岡市生まれ。四十二歳。現住所南浜通一―三七二。

中枢管理機能を強め発展

原敏明（新潟経済社会リサーチセンター研究部長）

上越新幹線開通で、高速交通時代がいよいよ幕明けとなりました。

▲新時代に対応すべく新潟市の主産業・商業は急速に変化しています。大和・新潟三越の増床、緑屋のリフレッシュ、旧イチムラのビブレ21への変身。古町六・七番町約八十店も、四割が新・改装し、個性的なデザイナーブランドを扱う店が増えました。

近く新潟伊勢丹も登場、駅南にも大型店が出現しそうです。新潟市商圏は下越中心の百十七万人から、中越も含めた百八十六万人へと広がりましょう。

電算機のプログラム製作会社、計算センターなど、新しい産業の立地も進んでいます。

▲新幹線開通で、東京・大阪まで一時間以内となった静岡市、名古屋市、岡山市は、両巨大都市に吸収される面も少なくないようです。

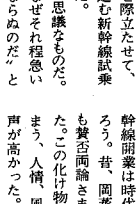
しかし、両巨大都市よりそれ以上離れている広島市、福岡市、仙台市同様、新潟市も、周辺数県を統轄する中枢管理機能を強め発展すると思われます。新潟駅前のビルラッシュはそれを物語っています。中枢管理機能の拡大が雇用機会と、経済力を強めると思います。

▲新潟市は、越乃寒梅、コシヒカリ、南バンエビに柳カレイなど美味と美人が多いだけでなく、冬には樹木を雪囲いして美しく守る心やさしい街です。早起き野球、民謡流しの参加数はいずれも日本一という、ふれあいと連帯感の強い街です。故郷を持てず、心のふるさとを探す東京人のペースキャンプに、急増した市内のホテルがなりそうです。

歴史学者オズワルド・スペングラーは「西欧の没落」の中で、あらゆる文明の衰退の要因の一つは巨大都市の匿名性→孤独感→無力感にあると言っております。

巨大都市でなく地方都市のモデルとも言える新潟市が、新幹線開通後、ふれあい→連帯感→充足感を強めれば、日本文明をより永らえさす可能性が出ます。この意味で、日本海側最初の新幹線最終駅を持つ新潟市は重大な歴史的使命を担っているともいえます。

十一年、一兆七千億円、九十五人の尊い命をかけた新幹線をどう活用するかは、私達市民一人ひとりに与えられた課題ではないでしょうか。



人権擁護委員。六年にわたり人権擁護の仕事をする傍ら、文芸創作活動を長年続けている。社会教育関係講座の講師・助言役も務める。第二回の文芸にいがた文学賞（小説部門）を受賞。福岡市生まれ。五十六歳。現住所坂井四一―六。

新幹線開業に不安と期待が

船引静子（人権擁護委員）

老無惨を感じさせる特急"とき"に体中を振り回されながら往く道すがら、グリーンの緑を際立たせて、滑るように進む新幹線試乗車の姿を見た。

人間とは不思議なものだ。"東京へ、なぜそれ程急いで行かねばならぬのだ"とくすぶり続けてきた不満が、たった一目で早くも崩れかけている。

思い返してみると、不安ばかりが先立った。この静かで美しい新潟の町が、躍り込んでくるスピードに、果たして太刀打ちできるだろうか。長い歳月をかけて育くんだ実直で忍耐強い気質まで破壊されてしまうのではなかろうか、との危惧があった。だが一方では、その越後人気質に縛りついている、やや閉鎖的な内気さを、この際外へ向かって大きく開くきっかけになるかもしれないとの思いもあった。

上越新幹線についての取材、報道を通してずいぶん多くの人に会い、さまざまな現象を見てきた。行きつく問題は新幹線のもたらす変化、新幹線の影響であり、それにどう対応すればいいか、ということだった。

東京と新潟が二時間半、やがては二時間で結ばれることによって、人の動きが海道五十三次という風情は無くなったが"今は山中、今は浜"と旅は楽で楽しいものとなった。

三転して今度は、タイムカプセルみたいな通路をスピードが突っ走るのである。旅のロマンというより、タイムイズマネーが先行する。しかし目的地に速く、確実に着けるというのは近代生活の条件と言えなくもない。人がこれを、どのように自分の暮らしに馴染ませて、新しいタイプの「旅」を再生させ得るか、挑戦するに足る課題であろう。

希望としては、速い事を望まない人のために、山や海の景色をこころゆくまで堪能できる、ユックリズムの路線の方も大切に考えて、施策の中に組み込んでもらいたいものである。

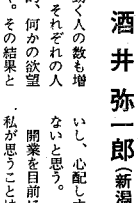
それらすべて包含しつつ、願望と、実現を目指す力とがじわじわと醸成され、時至って噴出されたものが新幹線というのなら、新しい出発に大いに期待し、祝福したいと思う。

だが私には、何がどうなるのか、自信を持って人に言うことはできない。新幹線をどう利用するか、どう活かしていくか、それは一人ひとりがそれぞれの立場で考え、対処していくしかないだろう。ただ、新幹線は金を運んでくるのでも、爆弾を積んでくるのでもない。期待しすぎることもないし、心配しすぎることもないと思う。

開業を目前にして、いま私が思うことは高速化とか便利さとはまったく別のことである。新幹線の開通で新潟から東京までと、上越市までとはほぼ同じ時間距離になる。どちらへも気軽に出かけていけるようになって、ではどっちへ、となると私は上越を選ぶ。

ついこの二月まで三年間、上越支社に勤務していた名残りもあるが、東京にも新潟にも求められない、私の欲しいものが上越にはあるからだ。それは変化に富む自然であり、厚く細やかな人情味である。ゆとりとうるおいといってもいい。

新幹線だけの影響ではないが、新潟市は今後さらに人口が増え、街は都市化するだろう。私は都会型生活の便利さや快適さを拒否するものではない。しかし生活テンポのスピード化と都会化にほんろうされることなく、のんびりと田舎型の生活を楽しみたいという欲求が強い。それにはかなりの自覚と努力が必要ろう。新幹線開通の時に当たり、私は改めてゆとりとうるおいのある人生を生きたいと決意する。



新潟日報報道部記者。新潟市政記者クラブを振り出しに、長岡支社、上越支社を経て、今年四月本社報道部へ。「国鉄」担当で、現在上越新幹線の取材、報道に当たっている。三島郡三島町生まれ。三十六歳。現住所葉竹二二八八―一。

ゆとりとうるおい

酒井弥一郎（新潟日報記者）

早くなる。動く人の数も増えるだろう。それぞれの人は何かの目的、何かの欲望を持って動く。その結果として経済活動はもちろん、消費生活、レジャーから文化、教育にまで、はっきりとした形で、あるいは目に見えないながらも変化が押し寄せてくることは間違いない。

新幹線開通記念行事

期間　11月15日～28日

大にいがたまつり

新潟の物産と観光展	●11月15日～23日（17日は除く） ●大和新潟店
創作民謡発表会	●11月19日午後6時～ ●新潟市体育館（入場無料）
郷土料理と地酒まつり	●11月20日午後1時～8時 ●オークラホテル新潟（入場無料） ●試食コーナー、利酒大会など楽しさいっぱい
世界と新潟のまつり	●11月20日午後6時～、21日午後2時半～ ●県民会館大ホール（入場料500円）
農林水産業まつり	●11月21日・22日午前10時～午後4時 ●新潟市体育館（入場無料）
谷村新司海援隊コンサート	●11月24・25日午後6時半～ ●県民会館大ホール （前売券売り切れました）
ふるさと芸能祭越路おどり	●11月27日午後6時～、28日午後1時～ ●新潟市体育館（入場無料）

問い合わせ　大にいがたまつり運営事務局（☎43―五〇二六）へ

「ふるさと」新潟おどり
―新潟芸妓総出演―

新潟ふるさとち芸妓連が情緒豊かなおどりを初めて一般公開します。あでやかな粋の神髄をお楽しみ下さい。

月日　十一月十五日・十六日
時間　午前十一時、午後二時
会場　市公会堂
内容　▼第一部　花くらべ…「寿　松づくし」「長唄　越後獅子」「祝新幹線　越路花登大山」▼第二部　新潟情緒…「岩室甚句」「米山甚句」「新潟おけさ」「越後追分」「相川音頭」「上越　新幹線音頭」「新潟甚句」

おめでとう「フェスティバル」（入場無料）

日時　十一月十五日午後二時～四時十五分
会場　県民会館大ホール
内容　第一部…吹奏楽と合唱　第二部…民謡と太鼓の競演

入場料　千五百円（全席自由）
※十五日午後の部、十六日午前の部に空席があります。前売券は市商業観光課、大和新潟店、新潟三越でお求め下さい。
主催　市、新潟商工会議所、市観光協会、新潟三業協同組合

◎日本海タワー塔乗料割引
十二月二十八日まで料金五十円割引
◎会津八一記念館入館料割引
十二月三十一日まで（月曜休館）大人二百円→百円、高校生以下百円→五十円
◎県立自然科学館・絵はがき
プレゼント…十二月二十七日まで、先着三百人に絵はがき（六枚組）をプレゼント
※割引、プレゼントはジョイフルパスポートお持ちの方
鉄道史展…十一月二十八日まで（月曜休館）
◎県立自然科学館・新潟県の